



ティーチング・ポートフォリオ

## Teaching Portfolio とは

ティーチング・ポートフォリオ（TP）とは、「自らの教育活動について振り返り、その自らの記述を根拠資料（エビデンス）によって裏付け、厳選された教育の軌跡」です。

TP の作成を通して自身の教育理念を明確にし、これまでの教育活動の整合性を確認できます。作成された文書には、自身の教育活動の特徴が記述され、教育理念と方針・方法のつながりを可視化することができます。さらに、根拠資料として裏付けることで教育業績の評価資料としての公正性を担保します。

TP は、自らの在り方と価値に気づき、これから歩みたい未来に向かう道しるべとなります。

## 書籍

### 「大学教育を変える教育業績記録」

大学評価・学位授与機構監訳、栗田佳代子訳、ピーター・セルディン著 (2007) 玉川大学出版部 (Peter Seldin (2004) The Teaching Portfolio: A practical guide to improved performance and promotion/tenure decisions 3rd ed. Anker Publishing Company, Inc.)

—北米で普及したティーチング・ポートフォリオに関する筆頭ともいえる書籍の日本語訳です。TP の源流を知りたい方におすすめです。事例も豊富です。

### 「リフレクションを可視化するティーチング・ポートフォリオ・チャート作成講座」

栗田佳代子、吉田墨 (2021) 医学書院

—TP チャートについて知りたい人向け。ステップバイステップで作成方法が解説されており、説明動画にもアクセスできます。TP チャートの事例やメンタリングの実践例もあります。

### 「実践 ティーチング・ポートフォリオ スターターブック」

大阪府立大学高専ティーチング・ポートフォリオ研究会 (編) (2011) NTS 出版

—TP 作成ワークショップの具体的な運営方法について詳細に知ることができます。

### 「教師のための「なりたい教師」になれる本！」

栗田佳代子、吉田墨、大野智久 (2018) 学陽書房

—初等・中等教育に携わる先生に向けて、TP チャートについて書かれている本です。作成後、何に気づき、教育実践がどう変わったか、などの事例が所収されています。

## 研究論文

・栗田佳代子、吉田墨 (2022) 教育活動の振り返りを目的としたティーチング・ポートフォリオ・チャートおよび作成研修の開発と評価, 高等教育開発, 1, 19-27.

・栗田佳代子 (2020) 大学教員の教育業績評価の方法としてのティーチング・ポートフォリオ, 大学評価研究, 19, 55-64.

## お問い合わせはこちら

パンフレットのご請求、ティーチング・ポートフォリオについての講演のご依頼、ワークショップへのご参加他、お気軽にお問い合わせください。

東京大学 栗田研究室 Kayoko Kurita Lab

栗田 佳代子

〒113-0033

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 大学総合教育研究センター

✉ kurita@he.u-tokyo.ac.jp

🌐 <https://kayokokurita.info/>



栗田研究室 Web サイト

活動の軌跡を、振り返り、カタチにするポートフォリオ  
自らの理解を深め、改革し、未来への道しるべに

活動の軌跡を、価値あるカタチに



ティーチング・ポートフォリオ

# Teaching Portfolio

## TP 作成の意義・メリット

教育者としての活動を、理念を軸に一貫性をもって文字にすることで、教育に携わる主体であることを改めて意識化します。「この仕事をやって良かった！」と思えるきっかけをつくります。

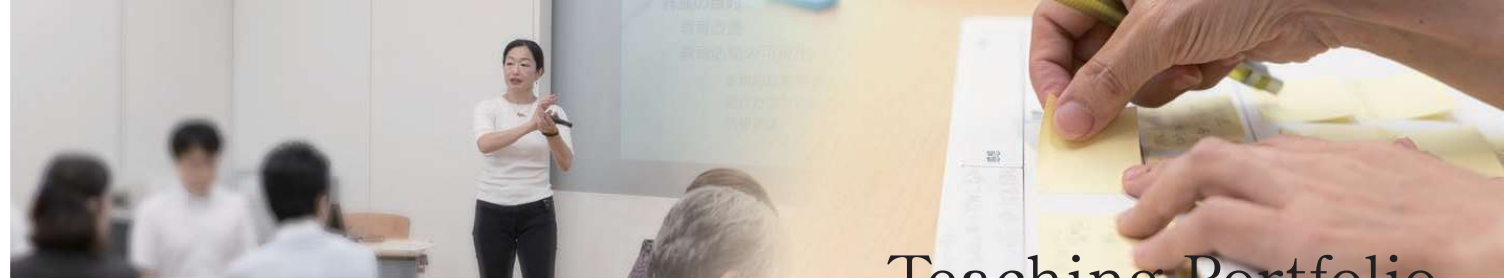
自らの活動を振り返ること自体が、教育改善の第一歩であり、作成を通して、今後の具体的な達成目標をたてることができます。

自らに関する情報を一冊にまとめることができます。そして、評価者に向けて、自らの活動を表現する手段として、さらには各種評価への対応にも活用することで、省力化も図れます。

## TP の典型的な構成例

- ・教育の責任（何をやっているのか）
- ・理念（なぜやっているのか）
- ・方針・方法（どのようにやっているのか）
- ・成果（どうだったか）
- ・今後の目標（これから何を目指すか）

上記が一般的な TP の構造ではありますが、自身の活動の特徴や作成の目的に応じて、独自の項目（例えば、「改善のための活動」「研究との関連」など）を追加することもできます。いずれにしても大切なことは、これらが一貫性をもつよう、自分自身の言葉で記述することです。



# Teaching Portfolio

ティーチング・ポートフォリオ

## TP をつくる

### どうやってつくる？

TP の作成は、年齢や職位、経験を問いません。TP を作成する目的を定めたら、TP 作成に必要な時間を確保しましょう。TP は、一人で作成するよりも、メンターの伴走を得られるワークショップなどの環境で作成することが望ましいでしょう。ワークショップの前には事前課題にあらかじめ取り組み、メンターとの対話を通して、自身のこれまでの活動について振り返り、TP の執筆を進めていきます。

### つくった後は？

教育活動を継続的に改善していくには、1年毎、または自身の教育環境の変化を機に更新すると良いでしょう。更新は自分ひとりだけではなかなかできないものですから、更新ワークショップなどを利用することをお勧めします。

### うまく導入するには？

TP は教育改善あるいは教育業績評価に有効なツールです。しかし、導入の方法を誤るとその効果を発揮することができず、それどころか教員にとってあらたな「負担」にすらなりかねません。

以下にアメリカの事例から得られた「導入がうまくゆくコツ」（セルディン, 2007）を紹介します。

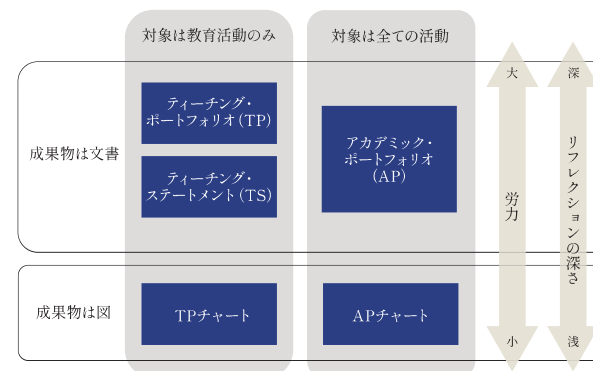
- TP の導入・活用方針が全教員と大学執行部に完全かつ明確に提示されること
- TP 作成プログラムについて教員が「自分たちのものである」と感じられること
- TP 作成プログラムの主目的は教育改善におかれるべきであること
- TP が昇格決定に用いられる場合にはその評価基準を明らかにすること
- 個人差を許容すること
- 強制されるべきではなく教員の自発性を重んじること
- 大学教務担当上層部の積極的なサポートと支持を得ること
- 受け入れと実行に十分な時間（1年あるいは2年）をかけること

## TP の広がり

自己への振り返りを促進し、将来につなげるポートフォリオの考え方は、「大学教員の教育活動」だけでなく、様々な人の多様な活動を深めるツールとなる可能性を有しています。

### TP を導入している高等教育機関の例

大阪公立大学工業高等専門学校／愛媛大学／佐賀大学／芝浦工業大学／他



詳しくはこちら



栗田研究室 Web サイト  
<https://kayokokurita.info/>